

第49回日本母親大会

【開催日】8月2日(土)～3日(日)

【場 所】秋田県・あきたスカイドーム他

【内 容】第1日 全体会

記念講演 「平和こそ世界の願い」
川端純四郎さん (元東北学院大学)

第2日 分科会

子供と教育、くらし、権利、平和、
女性の地位向上、など55のテーマ
で話し合います。

【問合せ先】

第49回日本母親大会実行委員会

tel 03-3230-1836

fax 03-3230-1837

たくさんのご参加お待ちしております!!



ポジティブ・アクション推進で 鹿児島テレビの場合



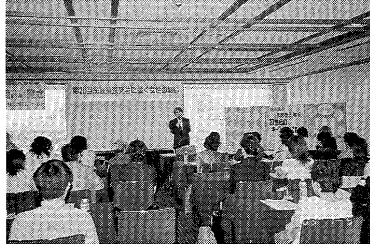
今年初めての試みとして厚生労働省は、女性労働者の能力発揮を促進するための積極的とりくみ(ポジティブ・アクション)を推進している企業を、均等推進企業として表彰、民放から鹿児島テレビが「鹿児島県労働局長優良賞」を受賞した。女性の「採用拡大」「職域拡大」「管理職登用」「職場環境・職場風土の改善」のうち、いずれかのとりくみを実施している企業を対象に公募して選考したもので、鹿児島テレビが選ばれたことは非常に喜ばしいことのように思える。

しかし、事実はどうではなかったようだ。九州地連女性協からは、鹿児島テレビがコース別選抜制度導入によって、転勤の有無という根拠のない賃金格差付コース分けを強硬に実施したことや、やむを得ず特別職(転勤がない)を選抜したのは結果として女性のみであり、間接的な女性差別につながる制度の導入という声があがっている。

第20回民放東京支社に働く女性の集い 充実した内容に大満足

7月5日、東京・千代田区のプレスセンターにおいて「民放・東京支社に働く女性の集い」の二〇〇回記念大会が、八八人の参加者を得て開催された。四〇年の女性部の歴史や二〇年の「集い」の記録、歴代講師のメッセージ披露など、東京支社連・女性部のパワーを感じた集会となった。リレートーク「愛するコ

トを大切にしますか?」のコーナーでは、仕事と子育てに奮闘中のKBC木附ゆかりさん、CM・番組調査の現場からはテレビ東京松本陽子さん、介護と仕事を両立し、輝いて卒業した元RKB須田和恵さん、海外番組の向こうに見た祖国愛についてTBSサビンス滝野綾さんが、それぞれ心強いエールを参加者へ送っていた。



記念講演は鳥越俊太郎さん

記念講演は鳥越俊太郎さん。21世紀のキーワードはこれだ!と題して語ったキーワードは二つあった。一つ目は「思春期」というキーワード。今まさに世間を驚愕させている「少年による凶悪犯罪」について、殆どのケースが思春期の少年によるもので、自分では理解できない未分化の性衝動を受け止めきれず、暴走した結果であると指摘。また、子供たちは親や社会によって守られ過ぎ、安全になり過ぎた事によって

忍耐する力がなくなっているとも指摘した。二つ目は「運動会」というキーワード。今の日本に欠けているものは「参加する」ということである。借金が七〇〇兆円にも迫ろうという国の財政に、ノーリアクションでは困る。これからの日本は、「運動会」のように参加型の社会になっていかなくてはならないと語った。記念講演のあと、同窓会をイメージした二〇周年記念パーティーを行い、楽しい時間を過ごした。

あり、間接的な女性差別につながる制度の導入という声があがっている。鹿児島県労働局長賞を受賞理由として、「チャレンジ目標を自分で設定し、その達成度を評価する自己評価制度導入により、女性がキャリアアップに非常に積極的になり、その結果、女性初



20周年にカンパ!



女性協議会